



# 全労連 憲法闘争ニュース 速報版

<http://www.zenroren.gr.jp/jp/> TEL 03-5842-5610 FAX 03-5842-5620 No.22

## 中央公聴会の強行開催抗議！

アリバイづくり許さない！ 安倍政権の暴走止めよう！

本日（13日）、衆院が安保特別委員会、中央公聴会を強行開催しました。衆院第2議員会館前で朝8時半から開かれた抗議行動（総がかり行動実行委員会主催）には、暑い中、単産からも多数参加しました。朝の集会には200人以上、昼の集会には300人以上が参加し、強行開催の抗議、戦争法案廃案を訴えました。昼の集会では、公述人としてこの法案の廃案を求めた小沢隆一氏、山口二郎氏が公聴会報告。「採決させるな」の決意をあらたに、国会にコールを響かせました。



# 戦争法案 採決強行は絶対に許さない

15、16 日にも衆院で戦争法案採決の構えを強める安倍政権と自民、公明両党。「早期採決」を強行する姿勢ですが、背景には国民の世論と運動に厳しく追い詰められた状況があります。

日本共産党、民主党など野党の追及に加え、圧倒的多数の憲法学者、元内閣法制局長官、そして元最高裁判事から「違憲」と断じられ、法案の正当性は完全に崩壊しています。審議すればするほど「違憲」批判と疑問が拡大し、大臣答弁も混迷を深めています。

反対世論は日増しに広がり、10 日には国会前で学生らの抗議行動が 15000 人規模で行われるなど、全国各地で画期的な発展を示しています。世論と運動を背景に野党共闘も前進。維新の議員の一人は、「15 日採決ならとても席にはつけない。橋下氏や大阪系の維新議員も世論を気にして動けないだろう」と述べています。

数を頼みに強行すれば、批判が爆発的に広がることは避けられないでしょう。日本テレビが行なった世論調査（10～12 日）では、安倍内閣を「支持する」が 39.7%と落ち込み、「不支持」41.0%を下回りました。

法案阻止のため、あらゆる行動を行なっていきましょう。

---

## ◆日本テレビ世論調査の設問と回答の一部を紹介します。

(HP : <http://t.co/9U6Kr64s3Z>)

[ 問1 ] あなたは、安倍晋三連立内閣を支持しますか、支持しませんか？

- (1) 支持する 39.7 %
- (2) 支持しない 41.0 %
- (3) わからない、答えない 19.2 %

[ 問7 ] 自衛隊の活動を広げる安全保障関連法案が、国会で審議されています。この法案のなかには、憲法の解釈を変えることによって、同盟国などが攻撃を受けた場合、日本が攻撃されたことと見なして、反撃することができる集団的自衛権の行使を、実際に行える内容が含まれています。あなたは、実際に、集団的自衛権を行使できるようにすることでよいと思いますか、思いませんか？

- (1) 思う 28.8 %
- (2) 思わない 57.9 %
- (3) わからない、答えない 13.3 %

[ 問9 ] 衆議院の憲法審査会での審議で、出席した3人の憲法学者全員が、法案に含まれている集団的自衛権の行使について、憲法違反にあたりと表明しました。これに対して、安倍内閣は、これまでの憲法解釈の範囲のなかにあり合憲だと説明しています。あなたは、この法案には、日本国憲法に違反する内容が含まれていると思いますか、思いませんか？

- (1) 思う 54.8 %
- (2) 思わない 18.8 %
- (3) わからない、答えない 26.4 %

[ 問10 ] あなたは、この法案を、いまの国会で成立させることでよいと思いますか、思いませんか？

- (1) 思う 24.2 %
- (2) 思わない 58.7 %
- (3) わからない、答えない 17.2 %

[ 問11 ] あなたは、安倍内閣が、この法案の内容について、国民に十分に説明していると思いますか、思いませんか？

- (1) 思う 13.2 %
- (2) 思わない 78.5 %
- (3) わからない、答えない 8.3 %

[ 問12 ] あなたは、集団的自衛権の行使をできるようにすることによって、日本の安全はどのようになると思いますか？

- (1) 安全性が高まる 16.2 %

- (2) 安全性が低くなる 38.7 %
- (3) 変わらない 35.8 %
- (4) わからない、答えない 9.4 %

## 憲法研究者が講師団結成 全国の学習会へ派遣

全国の憲法研究者有志は11日、戦争法案への反対運動に役立つ情報発信などのために、インターネット上で「STOP! 違憲の『安保法制』憲法研究者共同ブログ」を立ち上げ、全国各地の学習会へ派遣する「講師団を結成しました。

共同ブログ開設の呼びかけ人と賛同人は37人(8日現在)、講師団は55人(11日正午)で、今後も幅広い研究者が加わる見通しです。「憲法カフェ」など戦争法案の問題点の学習会に取り組む「明日の自由を守る若手弁護士の会」とも連携していくとしています。

記者会見で名古屋大学大学院の本秀紀教授は「法案に反対が国民の間で大きく広がっているが、法案の中身、問題点が知れ渡っているとは言えない。専門家の見地から適切な情報を提供したい」と語りました。

ネット連絡先は「STOP! 違憲の『安保法制』憲法研究者共同ブログ」で検索。(7月12日付 しんぶん赤旗より)

## <国会周辺の行動>

※主催団体名のないものは総がかり行動実行委員会主催です。

### 14日(火)

#### ◆止めよう! 戦争法案署名提出決起集会 (主催: 憲法共同センター)

\*7月14日(火) 15時~16時20分 \*砂防会館別館3階六甲

\*国会情勢報告: 日本共産党国会議員ほか \*終了後、16時45分~17時半議員要請

#### ◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 7・14大集会・国会請願デモ

\*集会=18時半~ 日比谷野音 \*集会と並行して国会請願デモ=18時45分出発

### 15日(水)

#### ◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 国会前座り込み行動 13~17時\*国会正門前(図参照:憲法共同センター)

#### ◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 国会正門前大集会 18時半~20時 国会正門前(図参照:憲法共同センター)

### 16日(木)

#### ◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 国会前座り込み行動 13~17時\*国会正門前(図参照)

#### ◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 国会正門前大集会 18時半~20時 国会正門前(図参照) (木曜連続行動=第9回を兼ねる)

### 17日(金)

#### ◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 国会前座り込み行動 13~17時\*国会正門前(図参照)

#### ◆戦争法案廃案! 強行採決反対! 国会正門前大集会 18時半~20時 国会正門前(図参照)

7月15~17日 国会正門前座り込み行動(13:00~17:00)配置図



7月15~17日 強行採決反対! 国会正門前大集会(18:30~20:00)配置図



**単産・地方から**

## **【JMIU】 戦争法案成立阻止 労働法制改悪反対 スト権確立を提起**

JMIUは11～12日、静岡県伊東市で第54回定期全国大会を開き、戦争法案成立阻止・労働法制改悪反対のたたかい、くらしと雇用を守るたたかいを提起しました。

あいさつした生熊茂実委員長は、戦争法案の採決強行が狙われる「きわめて緊迫した状況にある」と強調。労働者派遣法改悪法案と、「残業代ゼロ」「過労死激増」をもたらす労働時間制度改悪、解雇の金銭解決制度を許さないたたかいをよびかけ、「重要局面ではストライキを決行する決意をしよう」とスト権確立を提起しました。